**公益財団法人　大阪国際平和センター**

**令和元年度　経営目標の達成状況**（コロナウイルス感染症の影響を受けた経営目標）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **Ⅰ．最重点目標（成果測定指標）** |  |  |  |  |  |  |  |
|  | **戦略目標** | **成果測定指標** | **単位** | **H30実績** | **R１目標** | **R１実績** | **R１実績**※新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽの影響を受けなかった場合の実績　〔推計〕 | **ウェイト** |
| 　 |  | 施設（ピースおおさか）の利用促進 | 入館者数 | 人 | 69,539 | 78,000 | 65,980 | 71,514 | 20 |

|  |  |
| --- | --- |
| **未達成の****要因と分析** | 【要因】①学校関係　②学校以外　③その他（外的要因）【分析】①学校関係・教員の平和研修の機会の減少によるピースおおさかの知名度の低下。・教育関係権限を移譲された中核市は、教員研修等を市内で実施する傾向がある。・カリキュラムの増加により、校外学習の時間が奪われている。・新型コロナウイルス感染症の影響により、2月及び3月に予約されていた23校（3477人）がキャンセルとなった。②学校以外・入館者数については企画事業等の効果もあり、1月末時点(※)の段階では前年度より2,325人増（＋3.9％）となったが、即効性のある事業展開が十分でなかった。・訪日韓国人観光客の減少により、韓国人の来館者数が前年度より681名減（－68.9％）となった。※2・3月は新型コロナウイルスの影響のため、1月末時点とする。③その他（外的要因）・台風による8月15日の終戦の日平和祈念事業の中止。・新型コロナウイルス感染症による2月29日からの臨時休館。 |

**新型コロナウイルスの影響を受け、目標未達成となった「Ｒ１実績」内訳等詳細〔推計〕**

|  |
| --- |
| **新型コロナウイルスの市中での感染拡大が懸念された２月以降、来館者数が減少。２月２９日より閉館****２月及び３月の入館者数を、過去3か年平均値に置き換えて算出****H29年2月：5,175人、H30年2月：4,634人、H31年2月：4,892人　→3か年の2月平均来館者数：4,900人（R2年2月：3,302人　△1,598人）****H29年3月：3,221人、H30年3月：4,293人、H31年3月：4,294人　→3か年の3月平均来館者数：3,936人（R2年3月：0人　△3,936人）****●R1年度にコロナの影響を受けなかった場合の実績推計：65,980人+1,598人（3か年平均の2月分との差）+3,936人（3か年平均の3月分）＝71,514人****R1年度目標値は未達成ではあるが、H30年度実績値以上は達成できたと推測される。** |

**公益財団法人　大阪国際平和センター**

**令和元年度　経営目標の達成状況**（コロナウイルス感染症の影響を受けた経営目標）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **Ⅰ．最重点目標（成果測定指標）** |  |  |  |  |  |  |  |
|  | **戦略目標** | **成果測定指標** | **単位** | **H30実績** | **R１目標** | **R１実績** | **R１実績**※新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽの影響を受けなかった場合の実績　〔推計〕 | **ウェイト** |
| 　 |  | 運営コストの抑制 | 入館者一人当たりの事業費 | 千円 | 1.2 | 1.1 | 1.3 | 1.2 | 10 |

|  |  |
| --- | --- |
| **未達成の****要因と分析** | ・入館者数が目標に未達成となった。・職務用のパソコン等の更新や図書整理にかかる費用が増加。 |

**新型コロナウイルスの影響を受け、目標未達成となった「Ｒ１実績」内訳等詳細〔推計〕**

|  |
| --- |
| **新型コロナウイルスの市中での感染拡大が懸念された２月以降、来館者数が減少。２月２９日より閉館。****入館者数を、コロナ反映前を想定した実績値（71,514人）をもとに算出した場合、85,523,082円÷71,514人＝1,195円****これにより、円単位で見ると、R1目標値（1,100円）は未達成ではあるが、前年度実績値（1,213円）以上は達成できたと推測される。****※ただし、令和元年度目標は千円単位としていたことから、千円単位で表記すると上表のとおりとなり、前年度実績値と同値となる。** |